



TITLE:

露西亞ニ於ケル資本主義ノ發達ノ
特徴ト最近ノ大革命(四)

AUTHOR(S):

米田, 庄太郎

CITATION:

米田, 庄太郎. 露西亞ニ於ケル資本主義ノ發達ノ特徴ト最近ノ大革命(四). 經濟論叢 1917, 5(6): 845-853

ISSUE DATE:

1917-12-01

URL:

<https://doi.org/10.14989/127304>

RIGHT:

學大科法學大國帝都京

經濟論叢

號六第 卷五第

行發日一月二十年六正大

論說

社會學ト社會科學(二).....

文學士

高田保馬

租稅ニ於ケル強制ト任意.....

法學博士

神戶正雄

總同盟罷工論.....

法學士

河田嗣郎

經濟的行爲ト道德的行爲トノ關係(三).....

法學博士

田島錦治

墨子ノ經濟思想(三完).....

法學士

小島祐馬

西歐主義(三).....

文學士

米田庄太郎

土佐藩ノ地割制度(三).....

文學士

小野武夫

時事問題

日米協定ト日本ノ經濟.....

法學博士

神戶正雄

米國ノ貿易制限策.....

法學博士

戸田海市

雜錄

佛國ノ戰時食料政策.....

文學士

山本美越乃

英國戰前ノ海運及貿易情況.....

法學士

小島昌太郎

最近獨逸經濟思潮.....

法學博士

櫛田民藏

日英ノ物價趨勢.....

法學士

神戶正雄

日英ノ物價趨勢.....

法學士

河田嗣郎

露西亞ニ於ケル資本主義ノ發達ノ特徵ト

最近ノ大革命 (四)

米田 庄太郎

第一節 社會進化ト資本主義

(四) 西歐主義 (其二)

ベリンスキー Vissarion Gregorievitch Belinsky (1810-1848.)

ベリンスキーノ思想生活ハ信セントスル強キ欲求ト懷疑トノ鬭爭ノ永キ連續デアルト云ハレテ居ル。彼ハ先ヅしえりんぐノ哲學ヲ研究シテ、信仰ノ欲求ヲ充タサント勉メタ。夫レヨリふいてノ哲學ノ影響ヲ受ケタガ、間モナクヘーゲルノ哲學ニ移ツタ。併シ此處ニモ安住ノ境ヲ見出スコトガ出來ズシテ、ヘーゲルノ左黨ノ哲學殊ニふいえるばつはノ哲學ニ移リ、此クテ理想主義ヨリ實證主義、唯物主義、無神論ノ方向ニ轉ジタ。要スルニ、彼ハ其ノ哲學思想ノ發達ニ於テハ、獨逸理想主義ヨリ出發シテ後ニハ、遂ニ獨逸唯物主義及ビ佛國實證主義ニ移ツタノデアル。併シ勿論彼ハ此處ニ安住ノ境ヲ發見シタト云フノデハナク、只彼ハ此ノ階段ニ達シタル際ニ死去シタカラ、此處デ彼ノ思想生活ノ變轉ガ止マツタト云フダケデ、若シ夫レ以上ニ生存セシナラバ彼ノ

思想ハ更ニ何レカノ方向ニ轉移シタカモ知レナイノデアル。而シテ此ノ如キ彼ノ哲學的思想ノ變動ト、大體上對應シテ彼ノ社會的政治的思想モ、亦君主主義ヨリ民主主義及ビ社會主義ニ變動シタノデアル。併シ此ノ變動ハ甚ダ混雜ヲ極メテ居ツテ、其ノ跡ヲ追フテ彼ノ思想生活ノ發達ヲ明確ニ理解スルコトハ、甚ダ困難デアル。而シテ其ノ發達ヲ一定ノ階段或ハ時代ニ區別シテ、考察セントスル種々ナル企テモアルガ、茲ニハ只簡單ニ彼ノ思想ノ骨髓ヲ示サントスルヨリ、以上ノ事ヲ試ミル暇ハナイカラ、カカル方法ニ從フテ詳シク論述スルコトハ出來ナイ。而モ變動シツツアリシ彼ノ思想ハ、ヤハリ其ノ變動ノママニ之ヲ考察スルニ非ラズバ、其ノ骨髓ヲ明ラカニスルコトハ出來ナイ。ソレデ先ヅ彼ガ初メ獨逸理想主義哲學ノ影響ヲ受ケテ思辨シツツアリシ時代ニ產出セル思想ハ、大體上如何ナルモノデアリシカラ述ベ、次ニふお見えるばつはノ影響ヲ受ケテ唯物主義、實證主義ニ一轉セシ以後彼ノ產出セシ思想ハ、又大體上如何ナルモノデアリシカラ述ブルコトトスル。

初メベリんすきーガ、しえりんぐノ影響ヲ受ケテ思辨シツツアリシ時代ニハ、彼ノ思想ハすらガ主義ノ思想ト多クノ類似ヲ有シテ居ツタ。彼ハ信仰ヲ力説シ、外部の生活ニ對シテ内部の生活ヲ高調シ、佛國人ノ批評の傾向ノ大ナルヲ非難シ、精神ノ本質ヲ意志ニ於テ認メテ居ツタ。併シ次ニふいひてヲ學ブヤ、彼ノ思想ハ少シク變動ヲ生ジタガ更ニヘーげるヲ學ブニ至ツテ大ニ變動シタ。彼ハヘーげるニヨリテ、合理的ナルモノハ現實のニシテ、現實のナルモノハ合理的ナルヲ學ビテ、露西亞ノ現實ヲ其ノ儘ニ承認シ、又露西亞ノ經驗ト歴史トヲ大ニ重要視スルニ至ツタ。

此クテ彼ハ農奴制度サヘモ現實ナルガ故ニ、合理的ナルモノト認メントシ、而シテ力ハ權利ニシテ、權利ハ力デアルト説イタ。此時代ノ彼ノ論文ニシテ、尤トモ多ク世ノ注意ヲ惹起セシモノハ、「ぼろちの戦争記」デアルガ、之レニヨリテ茲ニ、此ノ時代ニ於ケル彼ノ社會的政治的思想ノ一斑ヲ示シテ置ク。ベリんすきーハ此戦争ニ於テ「永久的的生活精神」ノ顯現ヲ認メ、又此ノ顯現ハ同時ニ民族精神ノ顯現デアルト見テ居ルガ、今彼ノ考フル處ニヨレバ、民族或ハ國民ト國家トハ同一物デアル。民族及ビ國家ハ歴史のニ興ヘラレ、夫レ自身デ生長スル有機體デアル。而シテ國家ハ英雄ノ創造物、特ニ露西亞ニ就テ云ヘハ、つあーノ創造物デアル。此クテつあーハ神英雄及ビ民族ト同位ニアルモノデアアル、否ナ此等ノ觀念ハ正シク一ノ神話的及ビ神祕的總體概念ニ融合スルモノデアアル。ベリんすきーハ右ノ見解ヨリシテ、世界主義ハ一ノ空想ニ過ギナイトシテ之ヲ排斥シ、又自由主義ハ總テ佛國人ノ寢言ニ外ナラストシテ非難シテ居ル。尙ホ彼ハ主權ハ總テ神ヨリ授ケラレタルモノニシテ、殊ニつあーハ眞ニ神ノ代表者デアルト説キ、而シテ北米合衆國ノ大統領ノ如キハ、尊敬ス可キ人デハアルガ、革命ニヨリテ生レタルモノデアルカラ、神聖デナイト論ジテ居ル。今右ニ述ベシベリんすきーノ思想ハ、現實ノ承認ト云フヘーげるノ思想ニ基ヅイテ、立テラレタルモノナルコトハ明ラカデアアル。

ヘーげるガ日耳曼世界、殊ニ普魯西君主國家、具體的ニ云ヘバふりーどりひ、グーテの三世ニ於テ、彼ノ神祕的及ビ神話的ナル絕對的理性ヲ認メタル其ノ理由ニ基ヅイテ、ベリんすきーハにこらす第一世及ビウグあるゲン露西亞を精神化セントシタノデアアル。併シ右ノ論說ノ根底

ニハ、此ノ時分ベリんすきーガ最トモ重大ナル哲學的問題トシテ、大ニ思索ヲ練ツテ居ツタ問題ニ關スル彼ノ思想ガ横ハツテ居ル。其ノ問題ト云フハ、即チ主觀ト客觀、我ト非我トノ關係デアル。彼ハふいひテノ哲學ヲ通過シテ、ヘーゲルノ哲學ニ移ルヤ、ふいひテノ極端ナル簡人主義及ビ主觀主義ヲ打破スルニ非ラズバ、ヘーゲルノ思想即チ歴史ノ合理的實在說ヲ確立スルコトハ出來ナイト信シ、大ニ此ノ問題ニ頭ヲ悩マシタノデアルガ、今ベリんすきーハ客觀的ニ與ヘラレタル歴史、殊ニ歴史のニ與ヘラレタル國家ヲ承認スルト同時ニ、彼ノ歴史主義ハ主觀主義ニ反對シテ居ルコトヲ意識シ、而シテヘーゲルノ主意ニ從ガヒ、簡人的及ビ偶然的トシテノ主觀ト、一般的及ビ必然的トシテノ客觀、即チ世界全體トノ衝突ヲ、主觀ガ客觀ニ沒入シ、又此クシテ簡人的偶然的ガ一般的必然的ニ高メラレテ正當トサレルト云フ見解ニヨリテ調和セント試ミタ。彼ノ考フル處ニヨレバ、極端ナル主觀主義ハ悟性ノ働キヲ制限の任意的ナ概念ニ陷ラシメ、感情ヲ冷刻ナ非倫理的ナ利己心ニ墮落セシメ、行動スル意志ヲ惡行及ビ犯罪ニ導クモノデアルガ、之レト同樣ニ極端ナル客觀主義ハ、現實ヲ其ノ儘ニ神ト見ル迷信ニ陷ラシムル。此クテ主觀主義ト客觀主義トノ對抗ハ、ツマリ犯罪ト迷信トノ對抗ニ歸着スル。即チ客觀主義ヲ排シテ主觀主義ヲトルカ、又ハ主觀主義ヲ排シテ客觀主義ヲトルカト云フ問題ハ、ツマリ迷信ヲ退ケテ犯罪ヲ選ブカ、又ハ犯罪ヲ退ケテ迷信ヲ選ブカト云フ問題ニ歸着スル。併シ犯罪モ迷信モ共ニ排斥ス可キモノナルハ云フマデモナイ。隨フテ絕對的主觀主義モ亦絕對的客觀主義モ、共ニ排斥ス可キモノナルコトモ勿論デアル。然ラバ如何ニス可キカト云フニ、是レ即チ主觀主義及ビ客觀主義ヲ、夫レ夫レ適當

ナル一定ノ限界マデ承認スルニ止メ、以テ兩者ノ調和ヲ圖ルコトデアル。べりんすきハ此ノ調和ヲ圖ラントスル企ダテニ於テ、別ニ成功シタトハ思ハレナイ、彼ノ論ズル處ハ尙ホ甚ダ粗雜デアル。併シトニカク彼ガヘーげるノ影響ノ下ニ思索シツツアリシ時代ニ於テハ、此ノ調和ヲ圖ルコトヲ最大問題トシテ居ツタコトハ注意ス可キ點デアル。

却說其後べりんすきハべとろぐらーどニ住居シテ、直接ニ露西亞政府ノ現實狀態ヲ觀察スルニ至ツテ、彼ノ思想ニ大ナル變動ガ起ツテ來タ。彼ハ目前ノ事實ニヨリテ歴史、露西亞ノ歴史、更ニにこらす第一世ノ歴史ハ、之ヲ理想化スルニハアマリニ粗惡ナ現實デアルコトヲ覺ツタ、なほれおんヤ米國大統領トハ異ナツテ、神聖ナル實在デアルト考ヘタつあーハ、彼ノ空想ニ過ギザリシコトヲ目前ノつあーヲ見テ覺ツタ。隨フテ又ヘーげるノ汎神說ニ基ヅイテ、合法君主制ヲ辯護セントスルハ、甚ダ疑ハシキ企ダデアルコトニ心ヅキ、且ツ同一ノ思想ニヨリテ不合法ナ主權者モヤハリ辯護シ得ラルルモノナルヲ覺ツテ來タ。否ナ革命モヤハリ與ヘラレタル歴史の事實トシテ、其ノ合理性ヲ認メネバナラヌコトヲ覺ツタ。要スルニ合理的ナルモノハ現實のニシテ、現實的ナルモノハ合理的デアルト云フ思想ニヨレバ、吾人ハ歷史上ノ事實及ビ現在ノ事實ノ總テヲ、合理的ノモノトシテ承認セネバナラヌコトニナリ、其ノ間ニ合理的ト不合理のトノ區別ヲ全ク立テ難ク、ツマリ之レニヨリテ何物ヲモ判斷シ難キモノナルヲ覺ツタ。此クテ彼ノ思想ハ大ニ混亂シテ來タ。當時彼ハ其ノ友人ニ書キ送リシ如ク、實ニ思想ノ一大危機ニ陷ツタノデアルガ其ノ際ニ彼ハへるつえん及ビおがれぐニヨリテ、ヘーげる左黨ノ哲學殊ニふれいえるばつはノ說ヲ學

ブ可ク誘導サレタ。而シテ彼ハふねえるばつはノ説ヲ學ブコトニヨリテ、從來ノ思想ヲ一變シ、へるつゝん及ビおがれゾト共ニ神政主義的有神論及ビつあー主義ノ猛烈ナル反對者トナツタ。而シテ今ヤベりんすきーハ、全クふねいえるばつはノ主旨ヲ奉ジテ、人間ハ人間ノ智識ノ唯一ノ出發點及ビ目的デアルコトヤ、箇人ハ夫レ自身目的デアルコトヲ説キ、更ニ其ノ人間ト云フハ自由主義者ヲ意味スルコト、又自由主義トハツマリにこらす皇帝ノ壓制ヨリ解放サレルコトヲ意味スルモノナルヲ論ジタ。而シテ之レト同時ニ彼ハ又大ニ佛蘭西ノ社會主義者ノ説ニ心酔シ、彼等ノ著作ニヨリテ、社會主義ハ觀念中ノ觀念、實在中ノ實在、問題中ノ問題、信仰及ビ智識ノあるふあ及ビおめがデアルコトヲ確信スルニ至ツタノデアル。但シベりんすきーガふねいえるばつはヲ學ブト共ニ、佛國ノ社會主義者ノ説ニ心酔スルニ至ツタノハ、是レ彼ハふねいえるばつはノ唯物主義及ビ無神論ヲ以テ、露西亞ノ神政主義ニ對スル社會的鬭爭ヲ意味スルモノト感ジタガ、而モふねいえるばつはノ説クダケデハ、其ノ説ノ社會的意義ハマダ明白デナク、之ヲ佛國ノ社會主義者ノ説ニ結び付ケテ考ヘルト、茲ニ其ノ意義ハ始メテ十分に理解サレルト信ジタカラデアル。ツマリふねいえるばつはノ説ニ含メル社會主義的氣分ハ、佛國ノ社會主義者ノ説ノ光リニ照ラシテ、始メテ明亮ニ理解サレ、又大ニ強メラレルモノト信ンジタノデアル。而シテ此ノ際彼ハるい、ぶらんノ著作ニヨリテ、「ぶるぢゅあ」階級ノ真相及ビ此ノ階級ノ發達ニヨリテ生起セル多數民衆ノ貧困化ノ眞義ヲ學ビ得タト信ジタガ、併シ之レト同時ニ彼ハ社會階級ノ社會進化上ニ演ズル役目、少クモ其ノ露西亞ニ於テ演ズル役目ニ就テ、るいぶらんノ説ニ修正ヲ加ヘタ。彼ノ考フル處ニヨレバ、露西

亞ニ於テハ、文學ハ普通ノぶるぢやあ階級ノ上ニ、一種ノ新シキぶるぢやあ階級ヲ發達サセ、此ノ階級ヲ一層豐富ナラシメタ。而シテ其ノ文學ニヨリテ產出サレタル一種ノぶるぢやあ階級ト云フハ、即チいんてりげんちあノ階級ニシテ、他ノ總テノ階級ノ所屬員中ノ或者ヨリ成立シ、教化ノ愛ニヨリテ結合サレテ居ルモノデアル。彼ハ此ノ思想ヲ千八百四十六年ニ始メテ唱へ出シタガ、其ノ翌年ニ至ツテ、彼ハ階級說ヲ一層詳シク論述シ、總テノ國民ノ發達ハ、分化シ行ク社會階級ニヨリテ行ハルルモノナルコト、ぶるぢやあ階級ハ中等階級トシテ國家ノ幸福ノ爲メニ必要ナルコト、近世階級の社會ノ害惡ハ資本主義ガ社會ヲ支配シテ居ルコトニアルガ、而モ其ノ事ハぶるぢやあ階級及ビ其ノ工業ノ發達ノ罪デナイコト等ヲ究明セント試ミテ居ル。而シテ更ニ露西亞ノ貴族ハ夫レ自身ぶるぢやあ階級ニ轉化スルニアラズバ、露西亞ノ眞實ナル發達ハ到底望マレ難キコトヲ論ジ、彼等ガぶるぢやあ階級ニ轉化スルトキニ、茲ニ始メテ眞實ナル社會的發達ノ内部的過程ガ、露國ニ於テモ始マルモノナルヲ力説シテ居ル。

ベリンすきしハ、又進歩的國民ノ尤トモ重要ナル原動力ハ、教化及ヒ教育デアルト考へ、而シテ教化及ヒ教育ノ機關トナルモノハぶるぢやあ階級ノ補充階級トシテノいんてりげんちや階級デアルト認メテ、社會進化ニ於ケルいんてりげんちや階級ノ精神的指導ノ役目ヲ大ニ高調シ、すらヂ主義者ヤ社會主義者ノ唱道セル「人民ノ力ニ對スル神秘的信仰」ヲ排斥シテ居ル。併シ彼ガ此思想ヲ唱へ出シタノハ千八百四十八年、彼ノ死去セシ年ニシテ、彼ハ之ヲ十分ニ展開セズニ了ツタガ、此ノ思想ハ後ニ露國ノ思想界ニ於テ大ナル勢力ヲ振ヘル主觀主義派ノ思潮ノ萌芽トモ見做

シ得ラルルモノデアル。サレバ彼ヲ以テ主觀主義派思潮ノ先覺者ト見做ス人々モアル。尙ホベリ
んすきハ佛國ノ社會主義者ノ説ヲ受ケ容レタニ係ラズ、晩年ニ於テモ大ニ箇人主義ヲ高調シ、
人格ノ權利ノ爲メニ奮闘シテ居ツタノデアル。ソレデ彼ハマダ社會主義ノ眞義ヲ、十分ニ理解シ
テ居ラナカツタノデアラウト論ズル人々モアル。

以上述べ來リシ處ニヨリテ、西歐主義ノ最初ノ思想家ト認メラレテ居ルベリんすきハ
複雑ナル思想ノ發達ヲ、其ノ全體ノ上カラ見テ、少クモ其ノ根本的ニ重要ナル方面ニ於テハ如何ナ
ルモノデアルカラ示シタト思フガ、終リニ余ガ茲ニ特ニ注意シテ置キタイト思フ事ハ、露西亞ノ社
會の進化ニ關スル彼ノ見解デアル。前節ニ於テ述ベシ如ク、すらゞ主義者モ亦露西亞主義者モ、共
ニ露西亞ニ於ケル社會の進化ハ、西歐ニ於ケルト根本的ニ異ナレル方針ヲトル可キモノト考ヘタ
ノデアル。即チ西歐諸國ガ自由主義的及ビ資本主義的ニ發達シテ、今ヤ破滅ニ近ヅキツアルニ對
シテ、露西亞ハ斷然其ノ方針ヲ排斥シ、傳來ノ正統教、獨裁君主制度及ビミゝる制度ヲ保持シテ、
非自由主義的及ビ非資本主義的ニ發達シ、以テ腐敗セル西歐文化ニ取リ代ル可キ清新ナル文化ヲ
產出ス可キモノデアルトカ、又ハ自己ノ生命ヲ永久ニ持續ス可キモノデアルト考ヘタノデアル。
而シテベリんすきハ、始メハ之レト類似セル思想ヲ抱テ居ツタノデアルガ、然ルニ後ニハサキ
ニ述ベシ如ク、露西亞モやはり西歐諸國ノ例ニ從ガヒテ發達ス可キモノト考フルニ至ツタノデア
ル。但シ彼ハ資本主義トぶるぢやあ階級ノ發達トヲ區別シテ考ヘ、ぶるぢやあ階級ノ發達ノ必要
ヲ主張シナガラ、資本主義ヲ排斥シテ居ル様ニ思ハルルガ、併シ是レハ彼ノ誤解ニ基ヅクノデ、

ぶるぢやあ階級ノ發達ト云へバ、ツマリ自由主義及ビ資本主義ノ發達ヲ意味スルモノニシテ、後者ヨリ離シテ前者ヲ望ムコトハ出來ナイ。サレバ自由主義トぶるぢやあ階級トガ發達スルニ非ラズバ、露西亞ハ到底眞實ナル進歩ヲナスコトガ出來ナイト云フ彼ノ思想ハ、結局資本主義ノ發達ヲ以テ露西亞ノ進歩ノ必要條件ト見ルコトニ歸着スルト思フ。尙ホベリんすきー以外ノ西歐主義ノ代表的思想家ハ、次ニ述ブル如ク、一般ニぶるぢやあ階級ノ發達ヲ壓抑シ、又ハ其ノ發達階段ヲ飛ビ越へ、みゝる制度ヲ基礎トシテ非資本主義的ニ發達スルカ、又ハ西歐諸國民ノ資本主義的發達ヲヨク考察シテ、資本主義ノ優勝ナル諸特色ダケヲみゝる制度中ニ攝取シ、以テ彼等ガ資本主義的發達ノ苦キ經驗ヲ經タル後ニ今ヤ到達セント努力シツアル其ノ最高等ナル發達階段ニ一足飛ビニ進マントスルコトラ、露國ノトル可ク發達方針ト考ヘタノデアル。サレバ此ノ問題ニ於テハベリんすきーハ西歐主義者中ノ西歐主義者ト見做スコトモ出來ルノデアル。而シテ此ノ點ニ於テ彼ハ又後ニ主觀主義派ニ反抗シテ發達セル客觀主義派ノ先驅ヲ爲シテ居ルトモ見做シ得ラルノデアル。